

ユニセフとわたしたち



コモロ諸島の子どもたち photo by Hanabuchi

目次

- ご挨拶 p1
- 2020年事業報告 p2
- 2021年事業計画 p5
- 支部報告と計画の概要 ～道央、道東、道北、道南～ p8
- ご支援と活動のようす
 - 学校..... p12
 - 企業・団体..... p13
 - コープさっぽろ..... p14
- 特集Ⅰ 「コープさっぽろ指定募金
インドネシア・パプア地域の現状」 p15
- 特集Ⅱ 「失われた世代を生まないために
—新型コロナ流行が及ぼす
世界の子供たちへの深刻な影響—」 p16
- インフォメーション p17

ユニセフとは

ユニセフ(UNICEF:国連児童基金)はすべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、190の国と地域で活動しています。第2次世界大戦によって厳しい生活を強いられた子どもたちへの緊急支援を行うため、1946年に創設されました。教育、保健、水と衛生、栄養、暴力や搾取からの保護、HIV/エイズ、緊急支援、アドボカシーなどの支援を実施し、戦争で被災した子どもに限らず子どもたちの健やかな成長のために活動を行っています。その活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

日本ユニセフ協会とは

公益財団法人日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)は世界34の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会の一つです。ユニセフとの「協力協定」のもと、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表し、募金活動、広報活動、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)活動を行っています。日本ユニセフ協会の事業は、ユニセフとの間で行なわれる定期協議の場で合同計画を作成し、同計画に基づいて実施されています。これまでに子どもの権利条約及び選択議定書の批准に尽力し、また現在は子どもの商業的性的搾取や子どものポルノなど子どもの保護に関する問題に取り組んでいます。

北海道ユニセフ協会とは

北海道ユニセフ協会は、公益財団法人 日本ユニセフ協会と「協力協定」を締結し、ユニセフの趣旨に基づき、ユニセフへの協力活動を推進する独自の任意団体です。当該県・地域を代表するユニセフ活動の拠点として、また地域の社会・文化に根づいたユニセフの広報・募金活動を実施しています。

全国に26の協定地域組織が活動しています。(2021年1月現在)各地域で活躍される各界を代表する方々に理事、監事、評議員などをお引き受けいただき、幅広いご支援をいただいています。

新型コロナウイルス感染症流行と ユニセフ活動

北海道ユニセフ協会
会長理事 長瀬 清



2019 年末、中国湖北省武漢市に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、瞬く間に全世界に拡大した。日本には2月初旬、札幌での恒例の雪祭り見物に訪れた観光客によりもたらされた。

この時は、鈴木北海道知事の適切な判断によって、緊急事態宣言発令で無事に感染拡大を押さえた。その後、気の緩みと人の往来の活発化により再度感染拡大、夏になれば収束するだろうという期待もむなしく、冬を迎え急速に勢いを増し今日に至っている。ワクチンや治療薬を持たず、防戦一方の生活を余儀なくされている。年間に予定された当協会の会議も、行事も多くが不十分で一年が経つ。

例年、この間に行われる理事会、評議員会ははじめ、活動計画立案の諸会議が十分に行えず、会議もWeb、Zoomの形式での実施となった。不慣れということもあったが、スムーズさに欠け、盛り上がりが見えない感じであった。また、街頭での募金活動も制限された。

それ以上に、世界に目を向けると、多くの国の学齢期の子どもの半数が学校が休校を余儀なくされ、十分な教育を受けることが出来なかった。それらの子ども達への影響は、子ども達への搾取、暴力、虐待等に繋がり看過出来ない。子どもの半数が今も学校に通えていない現状に、ユニセフはEU（欧州連合）と共同で声明を発し、学校の再開を各国に呼びかけている。私達はこの呼びかけに応じて強く声を発する必要がある。皆で力を合わせ頑張りましょう。

#参考

1. COVID-19のパンデミックによる休校で、世界の学齢期の子どもの半数が、今も学校に通えていないことについて
ユニセフはEU（欧州連合）と共同で声明を発表
 - ・子どもの半数がまだ学校に通えず。学校の再開を各国に呼びかけ
 - ・教育を受けられない子ども達の影響—子ども達への搾取、暴力、虐待のリスクの高まり。

2020年 事業報告

1 活動報告

1. 北海道ユニセフ協会の運営を向上させます。

- 1) 2020年の拡大常務会は新型コロナウイルス流行により、例年より少ない10回の開催となりました。2月に第一回理事会・評議員会を行い、2019年報告と2020年事業計画が審議されました。また同日、支部連絡会を開催し各支部との交流を深めました。10月にはオンラインにて第二回理事会を行い、2020年上期報告と2021年事業計画が審議されました。
- 2) ボランティア体制の充実化のためにボランティアの増員を願い、ボランティア説明会を企画いたしました。新型コロナウイルスにおける北海道の緊急宣言禍によって中止を余儀なくされました。しかしながら新聞の募集により、増員を得ることができました。
- 3) 他団体とのネットワークの充実を図りましたが、1月に行われました全国中学校体育大会主催「チーム・ユニセフ×日本中学校体育連盟@北海道」アイスホッケー全国大会以降は、他団体もほとんどのイベントの中止を余儀なくされ、参加等も叶いませんでした。
- 4) 北海道緊急事態宣言と全国的な新型コロナウイルス流行禍のため、通常のボランティア体制も縮小せざるを得なくなりましたが、毎月、ボランティア通信の発行を行い、ユニセフについての内部学習を進めました。また日本ユニセフ協会が主催する会議・学習会にオンラインにて参加し、情報交換と学習を進めました。

2. ユニセフ活動への理解と協力を広める活動を強めます。

- 1) 広報誌は5月に3,450部発行し、役員、会友、後援依頼先、協力団体・個人などに配布しました。ホームページでは、様々な活動を事前にお知らせし、毎週新しい情報の発信をするよう努めました。北海道庁・札幌市・帯広市・北海道内179市町村教育委員会及び11の報道関係各位に北海道ユニセフ協会への後援をいただきました。
- 2) 残念ながら出前授業、募金贈呈式等の講師派遣も一昨年より大幅に減りましたがユニセフ視聴覚教材、パネル、学習ツールの貸出、そして新たな試みとしてオンライン学習に取り組みました。
- 3) パネル展も例年より開催規模を縮小し札幌市役所、旭川アッシュ、新千歳空港、アスティ45において実施いたしました。

3. ユニセフ募金についての活動を前進させます。

- 1) イベントでの一般募金呼びかけは行うことが困難となりましたが、学校募金につきましては講師派遣・ユニセフ資料等の貸出等の機会に案内をいたしました。
団体・企業の取り組みは、北海道庁・札幌市のご協力をいただきました。
また昨年度より継続して、コープさっぽろインドネシアパプア地区「よむ・かく・うれしい！」プロジェクトに取り組みました。
- 2) 2020年のハンド・イン・ハンドは例年のように街頭での取り組みは出来ませんでした。役員および支援者様にファミリーボックスを送付しての取り組みとしました。
- 3) 支援ギフトは北海道ユニセフ協会事務所にて常設展示し、ユニセフ広場等で寄せられました募金から新型コロナウイルス感染予防のための「手洗い石けん」を送りました。また、北海道高等学校長協会社会貢献プロジェクトから「箱の中の学校」をご協力いただきました。
- 4) ボランティアグループ「チャイルドサポートはまなす」により使用済み切手・書き損じはがきなどの換金作業に取り組みました。また、春と秋には集中的にコープさっぽろ「書き損じはがきキャンペーン」仕分け換金作業を行いました。
- 5) カレンダー募金はホームページによるカレンダー・手帳提供の呼びかけを行い、北海道ユニセフ協会主催バザーの取り組み、および支援団体によるバザーの協力もあり、この活動の定着化を図ることができました。

2 2020年 決算報告

《収入の部》

大項目	中項目	小項目	合計
協会からの仮受金収入			3,980,713
	運営費仮受金		1,387,500
	地域普及費仮受金		2,593,213
	特別事業仮受金		0
寄付金収入			0
会費収入(独自)			0
補助金収入			0
	公的機関からの補助金		0
	民間からの補助金		0
雑収入			1,707
募金仮受金			2,205,457
小計			6,187,877
前期繰越金			100,000
収入合計			6,287,877

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計
事業費			2,476,995
	啓発・募金活動費		2,476,995
		催事費	197,969
		資料制作費	347,777
		旅費交通費	92,560
		通信運搬費	324,341
		消耗品費	33,207
		ボランティア費	383,346
		アルバイト費	120,000

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計
		光熱水費	50,292
		事務所借料	264,000
		OA機器リース費	53,460
		事務局スタッフ費	600,000
		雑費	10,043
	特別事業費		0
運営費			1,152,811
	会議費		757
	通信運搬費		10,668
	消耗品費		2,134
	図書資料費		0
	印刷製本費		6,070
	光熱水費		50,292
	賃借料		317,460
		事務所借料	264,000
		OA機器リース費	53,460
		備品購入費	1,280
		交通費	161,040
		事務局スタッフ費	600,000
		雑費	3,110
		租税公課	0
募金仮受金入金払出金			2,205,457
日本ユニセフ協会へ返金			352,614
小計			6,187,877
次期繰越金			100,000
支出合計			6,287,877

3 活動データ

I 学習会・募金贈呈式

1月	札幌市立青葉中学校／コープさっぽろ西岡ボランティアグループ
2月	札幌市立新川小学校／札幌市立西野小学校／札幌市立発寒西小学校／札幌市立西野中学校／札幌市立新琴似中学校
7月	札幌市立中央中学校
9月	コープさっぽろ組合員オンライン第一回学習会
10月	コープさっぽろ組合員オンライン第二、三回学習会
11月	札幌市立北九条小学校
12月	当別町立当別小学校オンライン学習会／市立札幌開成中等教育学校オンライン学習会／札幌市立前田北中学校

II パネル・DVDなどの貸出実績

4月	市立札幌開成中等教育学校
9月	札幌市立前田北中学校／札幌市立富丘小学校
12月	札幌市立南が丘中学校／市民ネットいしかり市立札幌開成中等教育学校

III 月別募金推移

円(件数)

	1月	2月	3月	4月
2019年	667,945 (14)	71,717 (9)	867,238 (13)	13,829,116 (7)
2020年	546,214 (16)	627,769 (13)	46,565 (8)	11,698,194 (6)
	5月	6月	7月	8月
2019年	277,947 (15)	969,382 (18)	802,209 (41)	317,012 (14)
2020年	198,176 (12)	151,590 (15)	1,075,188 (42)	227,131 (12)
	9月	10月	11月	12月
2019年	319,000 (16)	179,159 (15)	187,183 (41)	3,558,797 (87)
2020年	161,821 (15)	83,674 (22)	472,213 (45)	778,314 (46)
	合計			
2019年	22,046,705 (290)			
2020年	16,066,849 (252)			

IV 2020年 募金をいただいた方々

(書き損じハガキ・使用済み切手など含みます)

1月

匿名6件／個人5件／コープさっぽろ北郷店などしこコープ会・ライラックコープ会／コープさっぽろ西岡ボランティアグループ／コープさっぽろ関係4件／株式会社エスケーカード／札幌大通郵便局／あずさ監査法人／東京海上日動火災保険株式会社札幌中央支店／共栄火災海上保険株式会社北海道支店／公益財団法人北海道学校給食会／西尾レントオール株式会社／佐藤水産株式会社宮の森店／北スタイル株式会社／遠軽郵便局／札幌中島ライオンズクラブ／トヨタカローラ札幌株式会社／北海道大学生協

2月

匿名7件／個人3件／札幌市立西野中学校／札幌市立西野小学校／札幌市立発寒西小学校／ガールスカウト北海道連盟札幌地区協議会／コープフーズ株式会社江別工場／コープさっぽろ4件／札幌市立西野中学校／札幌新川四条郵便局／神奈川県ユニセフ協会／岩見沢市社会福祉協議会

3月

個人2件／北海道高等学校長協会／株式会社かんぽ生命保険北海道エリア本部／札幌グリーンライオンズクラブ／清田みなさん会／株式会社北洋銀行東屯田センター／有限会社丸正北海総業／日本設備工業株式会社／岩見沢はまなすライオンズクラブ／帯広市社会福祉協議会／コープさっぽろ2件／株式会社中松浜松支店／石狩市ボランティアセンター／石狩市社会福祉協議会／チャイルドサポートはまなす

4月

個人2件／日本医療大学学友会／遠軽郵便局／株式会社金太郎／コープくらしの助け合いの会／回明堂眼科・歯科／株式会社東急コミュニティー札幌市住宅管理センター厚別管理事務所／チャイルドサポートはまなす

5月

匿名1件／個人3件／佐藤水産株式会社(本社・本店・市場店・新千歳空港店・オールドリバー)株式会社北洋設備設計事務所／アカシア物産株式会社／札幌大通郵便局

6月

匿名4件／個人2件／グローバルみらいネット／札幌中央市場前郵便局／北海道信用農業協同組合連合会／札幌屯田郵便局／湧別郵便局／音更町社会福祉協議会／株式会社オバタ／コープさっぽろ1件／チャイルドサポートはまなす

7月

個人4件／ひばり永遠の会／株式会社アイワード／札幌静修高等学校生徒会／旭川神楽岡五条郵便局／北海道はまなす食品株式会社／コープさっぽろ1件／チャイルドサポートはまなす

8月

個人1件／函館だらせんプロジェクト実行委員会／富良野郵便局／北海道札幌地区トラック協会女性部会／新発寒店ユニセフグループ／コープさっぽろ1件／チャイルドサポートはまなす

9月

匿名1件／個人2件／旭川市医師会看護専門学校／株式会社菊水／札幌中島ライオンズクラブ／帯広郵便局／札幌グリーンライオンズクラブ／札幌大通郵便局／コープさっぽろ1件／チャイルドサポートはまなす

10月

匿名1件／個人3件／チャイルドサポートはまなす／公益財団法人北海道学校給食会／札幌清田ライオンズクラブ／北海道旅客鉄道株式会社／石屋製菓株式会社／株式会社LNJ商事

11月

匿名1件／個人2件／チャイルドサポートはまなす／札幌北三十三条郵便局／札幌中島ライオンズクラブ／札幌新川四条郵便局／損害保険ジャパン株式会社札幌支店／日本設備工業株式会社札幌支店／コープさっぽろ1件

12月

匿名2件／個人2件／札幌市立富丘小学校／市民ネットいしかり／ホクレン農業協同組合連合会管理本部物流部／岡山ユニセフ協会／日比谷通商株式会社北海道営業所／株式会社金太郎／コープさっぽろ1件／清里町社会福祉協議会／札幌大通郵便局／株式会社北陽北海道支社

V 会友登録状況

2020年12月31日現在で120人の登録となっております。

(*順不同 *団体、個人は匿名も含みます。*募金は北海道ユニセフ協会扱いのみ記載しています。)



2021年 事業計画

1 活動計画

1. 北海道ユニセフ協会の運営を向上させます。

- 1) 機関運営は従来通り拡大常務会月例開催し活動の報告と審議を行います。
理事会は年2回(2月、10月)、評議員会は年1回(2月)に行い、報告や計画、役員を選任について審議します。
- 2) ボランティア体制の充実に努めます。ボランティアの募集を目的に、ボランティア説明会を各地で開催し日常・イベント・学習ボランティアの確保に努めます。
- 3) 他団体主催・共催のイベントを通じて交流を深めるとともにネットワークの充実を図ります。また名義後援をいたします。
- 4) 事務局とボランティアの協力のもと、内部学習会を積極的に行います。併せて、日本ユニセフ協会が主催する会議・研修会・スタディツアーに参加し、情報交換と学習を進めます。

2. ユニセフ活動への理解と協力を広める活動を強めます。

- 1) 広報誌は3,450部発行し、役員、会友、後援依頼先、協力団体・コープさっぽろ総代及び個人の皆様にお届けします。さらに、会友、評議員に向けての情報発信をします。ホームページでは、様々な活動を事前にお知らせし、毎週新しい情報の発信をするよう努めます。北海道庁・札幌市・帯広市・北海道内179市町村教育委員会及び11の報道関係に北海道ユニセフ協会への後援をお願いします。
- 2) 学校関係との連携強化を目指し、講師派遣・オンライン学習会を行います。
ユニセフ視聴覚教材、蚊帳などの学習ツールの貸し出しを行います。
昨年延期となりました、日本ユニセフ協会主催の学校キャラバンと共に、道内の学校にユニセフの理解を広めます。
- 3) 北海道内各地の公共施設及び会場でパネル展を開催し、広く道民の理解と協力を呼びかけます。
- 4) 北海道ユニセフ協会主催の講演会・フォーラムの開催を検討します。
- 5) 道内に広く呼びかけ北海道ユニセフ協会会友及び日本ユニセフ協会賛助会員の拡大を目指します。協同組合ネットを通じての働きかけに取り組みます。
- 6) 子どもの権利を守るため日本ユニセフ協会が提唱するアドボカシー活動の広報に努めます。「子どもの権利条約」のさらなる普及を進め、子どもの課題に焦点をあてた持続可能な開発目標(SDGs)の推進を働きかけます。

3. ユニセフ募金についての活動を前進させます。

- 1) 一般募金の拡大を目指し、イベントでの呼びかけを中心に行います。また学校関係の働きかけの他、団体(企業)の協力支援を呼びかけます。団体・企業の取り組みは、北海道庁・札幌市役所への呼びかけ、また、コープさっぽろの「指定募金」に共に取り組みます。緊急募金は日本ユニセフ協会の呼びかけに対応します。ユニセフ・札幌ラブウォークを行います。「ユニセフ外国コイン募金」を広くお知らせし、募金協力に取り組みます。非対面型(フレンドネーション等)募金活動に対応します。
- 2) ハンド・イン・ハンド活動を進め、各支部にも実施要請していきます。その他企業、学校関係へも事前に働きかけます。
- 3) 北海道ユニセフ協会事務所にて支援ギフトを常設展示のほかイベントでの支援ギフトの紹介に取り組みます。
- 4) 使用済み切手・書き損じはがきなどの換金作業・イベントでの募金の呼びかけに取り組むとともにボランティアグループ「チャイルドサポートはまなす」による募金活動を強めます。コープさっぽろ「書き損じはがきキャンペーン」仕分け換金作業を行います。
- 5) カレンダー募金はホームページによるカレンダー提供の呼びかけを行いカレンダーバザーに取り組みます。

2 2021年 予算

《収入の部》

大項目	中項目	小項目	合計
協会からの仮受金収入			5,265,220
	運営費仮受金		1,387,500
	地域普及費仮受金		3,877,720
	特別事業仮受金		0
寄付金収入			0
会費収入(独自)			0
補助金収入			0
	公的機関からの補助金		0
	民間からの補助金		0
雑収入			1,000
募金仮受入金			2,000,000
小計			7,266,220
前期繰越金			100,000
収入合計			7,366,220

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計	
事業費			3,878,720	
	啓発・募金活動費		3,878,720	
		催事費	600,000	
		資料製作費	450,000	
		旅費交通費	550,000	
		通信運搬費	450,000	
		消耗品費	120,000	
募金仮受入金払い出し金			2,000,000	
日本ユニセフ協会へ返金			0	
小計			7,266,220	
前期繰越金			100,000	
支出合計			7,366,220	

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計
運営費		ボランティア費	600,000
		アルバイト費	120,000
		光熱水費	50,292
		事務所借料	264,000
		OA機器リース料	53,460
		事務局スタッフ費	600,000
		雑費	20,968
		特別事業費	0
			1,387,500
		会議費	40,000
		通信運搬費	18,000
		消耗品費	10,000
		図書購入費	5,000
		印刷製本費	30,000
		光熱水費	50,292
	賃借料	317,460	
	事務所借料	264,000	
	OA機器リース料	53,460	
	備品購入費	8,000	
	交通費	300,000	
	事務局スタッフ費	600,000	
	雑費	8,748	
	租税公課	0	
募金仮受入金払い出し金			2,000,000
日本ユニセフ協会へ返金			0
小計			7,266,220
前期繰越金			100,000
支出合計			7,366,220

2021年 役員・評議員名簿

1 役員

顧問	鈴木直道 (北海道知事)	常務理事	銀 輝 (北海道ユニセフ協会事務局長)
顧問	秋元克広 (札幌市長)	常務理事	高口雅晴 (コープさっぽろ組織本部基金事務局長)
顧問	岩田圭剛 (北海道商工会議所連合会会頭)	理事	石井純二 (北海道経済同友会代表幹事)
相談役	重原祐治 (前財日本ユニセフ協会北海道支部常務理事)	理事	北野和 (日本ボーイスカウト北海道連盟常任理事)
会長理事	長瀬清 (北海道社会福祉協議会会長 北海道医師会会長)	理事	小林亨 (株北海道新聞社取締役企画室長)
副会長理事	麻田信二 (北海道生活協同組合連合会会長)	理事	柴田倫宏 (北海道農業協同組合中央会専務)
副会長理事	吉野次郎 (元北洋銀行代表取締役副会長 現株北星コーポレーション顧問)	理事	杉山元 (連合北海道会長)
専務理事	花淵馨也 (北海道医療大学大学院教授)	監事	高野一夫 (高野公認会計士事務所)
常務理事	櫻木真紀 (コープさっぽろ理事)	監事	中坪正芳 (笠会計事務所)

2 評議員

阿部満 (生田原ちゃちゃワールド代表)	寺内達郎 (北海道テレビ放送(株)代表取締役社長)
市川勝治 (日本ユニセフハムクラブ監査役)	寺西朝子 (北海道ユニセフ協会道南支部事務局長)
稲葉光秋 (読売新聞東京本社北海道支社長)	永井風雅 (札幌大学ユニセフネットワーク部長)
梅岡宏 (NHK札幌拠点放送局局長)	西尾吉博 (伊藤組土建(株)専務取締役)
大泉弘 (前室蘭友の会代表)	西田栄子 (北海道ユニセフ協会道東支部代表)
岡田朋子 (北海道ユニセフ協会道南支部代表)	西村裕子 (北海道小学校長会事務局幹事)
蒲澤康志 (北海道放送(株)社長室長)	根上和也 (北海道高等学校長協会副会長)
川畑恵 ((公財)札幌国際プラザ常務理事)	根岸豊明 (札幌テレビ放送(株)代表取締役社長)
木曾修 (真宗大谷派北海道教務所長)	野内吉徳 (ボーイスカウト北海道連盟常任理事)
木下真一 (北海道教職員組合中央執行委員長)	野々村芳和 (株コンサドーレ代表取締役社長)
日下巖 (創価学会北海道本部副会長)	島山京子 (北海道消費者協会会長)
工藤達志 (コープさっぽろ労働組合中央執行委員長)	馬場可隆 (立正佼成会札幌北教会長)
熊谷典昭 (新日本宗教団体連合会北海道総支部事務局長)	早坂天 (北海道ユニセフ協会道北支部代表)
小林道 (酪農学園大学准教授)	藤田一雄 (一般社団法人北海道歯科医師会会長)
沙々木学海 (北海道仏教会連盟会長)	藤原幸恵 (元ユニセフ職員)
嶋名隆 (朝日新聞北海道支社長)	三田肇子 (株)ガールスカウト北海道連盟連盟長)
清水紀元 (北海道ユニセフ協会道東支部事務局長)	山崎賢太郎 (日本航空北海道地区支配人)
條野由理子 (元ガールスカウト北海道支部札幌地区協議会会長)	吉澤政昭 (北海道市長会事務局長)
末次省三 (株毎日新聞北海道支社支社長)	吉田千恵 (コープさっぽろ理事)
関口正雄 (弁護士)	渡邊幸宏 (北海道ユニセフ協会道東支部中標津友の会代表)
多加順子 (元コープさっぽろ理事)	和田正教 (北海道中学校長会副会長)
竹内伸仁 (一般社団法人北海道薬剤師会会長)	

(敬称略、理事・監事・評議員各位は五十音順)

2021年第一回理事会時点

北海道ユニセフ協会規約

公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織

北海道ユニセフ協会規約

前文

北海道ユニセフ協会は、(財)日本ユニセフ協会が公益財団法人日本ユニセフ協会になったことを受けて、(財)日本ユニセフ協会北海道支部を継承する形で設立されるものである。

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、北海道ユニセフ協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を北海道札幌市西区発寒11-5-10-1に置く。
2 本会は、理事会の議決を経て、必要な地に従たる事務所を置くことができる。

(目的)

第3条 本会は、公益財団法人日本ユニセフ協会(「日本ユニセフ協会」)との協力協定に基づき、北海道において、日本ユニセフ協会の定款目的を実現することを目的とする。

(活動)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。
(1) ユニセフのための広報・啓発活動
(2) ユニセフへの協力(募金)活動
(3) その他日本ユニセフ協会の定款目的を実現するために必要な諸活動

第2章 運営

(会の構成)

第5条 本会は、第6条の役員、第13条の評議員及び第15条の顧問・相談役、第21条の会友を以て構成される。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。任期は2年とし、再任を妨げない。補欠または増員により選出された役員は、前任者または現任者の残任期間とする。

- (1) 理事 20名以内
- (2) 監事 2名以内

(選任)

第7条 理事及び監事は、評議員会において選任し、理事の中から互選で次の役職者を選任する。

- (1) 会長理事 1名
- (2) 副会長理事 2名以内
- (3) 専務理事 1名
- (4) 常務理事 若干名

(職務)

第8条 会長理事は本会を代表し会務を総理する。
2 副会長理事は会長理事を補佐し、会長理事に事故あるときにはその職務を代行する。
3 専務理事は会長理事の意を受けて本会の業務を掌握し会長理事及び副会長理事に事故あるときにはその職務を代行する。
4 常務理事は理事会の議決に基づき必要に応じ本会の業務を処理する。
5 理事は理事会を構成し、本会の業務を議決し、執行する。
6 監事は本会の会計及び業務執行状況を監査する。

第3章 理事会

(権能)

第9条 会長理事は毎年2回以上理事会を開催し、この規約に定めるもののほか、以下の事項について決議し、理事会の議長として理事会を運営する。

- (1) 本会の事業計画と予算案
- (2) 本会の事業報告と決算
- (3) その他本会の業務に関する重要事項

(定足数)

第10条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第11条 理事会の議決は、出席した理事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委任)

第12条 やむを得ない理由により理事会に出席できない理事は、予め通知された事項について書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。

第4章 評議員会及び顧問・相談役

(評議員)

第13条 本会は評議員30名以上50名以内を置く。
2 評議員は理事会で選出し、会長理事がこれを委嘱する
3 評議員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠または増員により選出された評議員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。

(評議員会)

第14条 評議員会は毎年1回以上開催する。
2 評議員会は、会長理事の諮問に応じ、必要な事項について審議し助言する。
3 評議員会には第10条、第11条、第12条の規定を準用する。
4 評議員会の議長は評議員会において互選する。

(顧問・相談役)

第15条 本会に顧問及び相談役を置くことができる。顧問・相談役は理事会が推薦し、会長理事が委嘱する。

第5章 財産及び会計

(財産の管理)

第16条 本会の財産は会長理事が管理し、その方法は理事会の議決を経て会長理事が別に定める。

(会計年度)

第17条 本会の会計年度は、移行年を除き、毎年1月1日から12月31日までとする。

(事務局)

第18条 本会の事務を処理するために事務局を設け、理事会の議決を経て事務局長及び所要の事務局員を置くほか、積極的にボランティアの参加を得るものとする。

第6章 規約の変更及び解散

(規約の変更)

第19条 この規約は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経なければ変更することができない。

(解散)

第20条 本会は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経て解散することができ、残余財産については日本ユニセフ協会に寄付するものとする。

第7章 会友

(会友)

第21条 本会の趣旨に賛同し、後援する個人または団体を会友にすることができる。
2 会友は、本会の運営に関し何らの権利及び義務を有しない。
3 会友に関する必要な事項は、理事会の議決を経て、会長理事が別に定める。

第8章 補則

(設立年の通算表記)

第22条 北海道ユニセフ協会は、(財)日本ユニセフ協会北海道支部を継承するものであり、北海道ユニセフ協会の通算年の起点を(財)日本ユニセフ協会北海道支部設立の1994年2月1日とする。

(補則)

第23条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、会長理事が別に定める。

(施行)

第24条 この規約は2011年4月1日より施行する。

支部報告と計画の概要

①道央（札幌・北海道ユニセフ協会）

■ 2020 年活動報告

開催月日	イベント名（会場）
1月10～16日	カレンダーバザー（アスティ 45）
1月9～31日	カレンダーバザー（コープさっぽろ：エルフィン・にしの・二十四軒・ルーシー・西岡・新はっさむ・貝塚・ひとみ・湯川・東光）千歳タウンプラザ、鉄道少年団
1月17～19日	チーム・ユニセフ×日本中学校体育連盟@北海道（苫小牧市白鳥アイスアリーナ）
1月17～31日	コープさっぽろ指定募金バザー（北海道ユニセフ協会事務所前）
3月23日	外国コイン日通持ち込み（大谷地 日本通運）
*3月	ボランティア説明会（ちえりあ）
*3月	パネル展（ちえりあ）
*5月	パネル展（北海道庁）
3～6月	パネル展（コープさっぽろ総代会会場）

開催月日	イベント名（会場）
*6月	森の広場の音楽会（アルテピアッツァ美唄）
*7月4日	第26回ユニセフ・札幌ラブウォーク
*8月	ACU まなびシェアキッズワークショップ（読売北海道ビル）
9月8～10日	パネル展（札幌市役所）
*10月	街頭でのハンド・イン・ハンド
11月4～6日	ユニセフ広場（新千歳空港）
11月6日	外国コイン回収（新千歳空港）
11月7～9日	ユニセフ広場（アスティ 45）
*12月13日	国際協力フェスタ 2020（札幌地下歩行空間チ・カ・ホ）

*印は中止になったイベントです。

チーム・ユニセフ× 日本中学校体育連盟@北海道

主催：令和2年度全国中学校体育大会
苫小牧市で開催されましたアイスホッケー大会。アリーナでは熱い戦いが繰り広げられました。試合の合間には選手の皆さんがユニセフのブースに立ち寄ってくださり、初めて目にするネパールの水がめなどユニセフの展示品をみて、世界の同世代の子どもたちのことへの見聞を広げてくれたようです。



ユニセフ広場 新千歳空港・アスティ 45 パネル展、DVD 放映

新千歳空港では感染対策としてチェーンベルトにより、展示物に触れないよう工夫しました。毎年同時に行っております国際線に設置されている外国コイン募金ボックスの回収は、2月からの国際線の制限を受け、搭乗者も少ない状態でしたが、今年も取り組むことが出来ました。アスティ 45でも例年のような支援ギフトの持ち込みはしませんでした。外国コインの仕分けコーナーと世界の色々なお札や日本の古いお札にお子様だけではなく、年配の方々も“懐かしいわね”と興味深々でした。



オンライン授業に着手して……

2020年2月新型コロナウイルスによるパンデミックが始まり、募金贈呈式に向かうはずであった学校訪問が相次いで中止。立ち止まっていた途上国の子どもたちを支えることはできない。事務局が配信準備を進め事務所の片隅にオンラインスペースが出来上がりました。否応なしにオンライン授業を手掛けることに。ここから小学校・中学校・「ユニセフオンライン学習会」活動へと、途上国の子どもたちの現状をお知らせする機会が与えられました。機器に慣れないため一方的な進行になりがちです。三大感染症の死者数を既に大きく上回っている現状の中で、オンラインが求められる時代に違いありません。まだまだ手探り状態ですが要望に対応できるよう精進したいと思います。

小原佳子



札幌市役所・パネル展 「アフリカの子どもたちの物語」

新型コロナウイルスの感染予防対策として支援ギフトの展示等は行わず、スタッフもフェイスシールドの装着等をしての対応で行いました。

当日のDVD 放映もとても好評でした。



カレンダーバザー

今年で3回目となりましたカレンダーバザー、昨年よりも多くの方にご来場いただきました。今回は吊るしてゆとりがあって見やすいと好評でした。また、通常のボランティアに加え、札大ユニセフネットワーク、札幌国際大学のインターンシップの学生さんによってカレンダーの展示も見やすく工夫され、にぎやかな雰囲気での開催となりました。



カレンダー提供団体一覧

2020年カレンダーをご提供くださった企業。団体様です。
ホームページの呼びかけでユニセフ活動へのご協力の一環として、
全国からカレンダーや手帳などが届けられました。



- ・株式会社アイワード
- ・株式会社須田製菓
- ・東洋建設株式会社横浜支店
- ・株式会社巴商会
 - 各営業所（千葉・京都・千歳・学園都市・伊勢原・湘南・仙台・富山・御殿場・いわき・那珂・熊本）
- ・YKK AP 株式会社
- ・株式会社BTBJapan
- ・株式会社北海道医療情報サービス
- ・西松建設株式会社
 - （金沢営業所・大和トンネル出張所・横浜湘南道路工事事務所・さいたま営業所・横浜営業所・北陸支店・赤羽出張所・関東北部事務管理室・東関東営業所）
- ・札幌トヨタ自動車株式会社
- ・株式会社大気社東北支店
- ・株式会社ベックス
- ・有限会社明和重機
- ・株式会社キョウエイアンドインターナショナル
- ・有限責任あずさ監査法人札幌営業所
- ・大和ハウス工業株式会社佐賀支店
- ・小樽グリーンライオンズクラブ
- ・成幸利根株式会社
- ・株式会社 NIPPO
- ・伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社
- ・株式会社 IHI トレーディング
- ・豊田通商株式会社北海道支店
- ・株式会社北海道クラウン
- ・青木あすなろ建設株式会社東京土木本店購買部
- ・伊藤忠エネクスホームライフ東北株式会社
- ・三井化学ファイン株式会社
- ・日章アステック株式会社
- ・株式会社マルタカ
- ・株式会社サニックスエナジー
- ・株式会社ライジングサン
- ・株式会社ロジックジャム
- ・株式会社ジェイフィールド
- ・伊那食品工業株式会社仙台営業所
- ・株式会社 NTT データビジネスソリューション事業本部
- ・デュプロ万博株式会社
- ・北海道土木設計株式会社
- ・キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- ・八千代エンジニアリング株式会社
- ・株式会社フヨウサキナ
- ・三井物産アセットマネジメント・ホールディングス株式会社
- ・ジョーンズラングラサール株式会社
- ・宝興産株式会社
- ・日本パルスモーター株式会社
- ・日本電設工業株式会社鉄道統括本部
- ・早坂ブルドーザー建設株式会社
- ・株式会社スズキ自販北海道スズキアリーナ月寒
- ・スターアジア投資顧問株式会社
- ・ホクト建機サービス株式会社
- ・大成実業株式会社
- ・ユウデン株式会社

そのほかにもご提供、バザーの取り組み、カレンダー募金へのご協力をありがとうございました。

2021年事業計画

春

- ・ボランティア説明会
- ・パネル展（ちえりあ）
- ・広報誌発行

秋

- ・札幌市役所パネル展
- ・ハンド・イン・ハンド
- ・コープさっぽろイベント

夏

- ・北海道庁パネル展
- ・ユニセフ・札幌ラブウォーク
- ・日本ユニセフ協会学校キャラバン

冬

- ・コープさっぽろ総代会
- ・ユニセフ広場（新千歳空港、アスティ 45）
- ・外国コイン回収
- ・コープさっぽろ国際協力支援

②道東支部（釧路）

例年、11月は釧路市生涯学習センター（まなぼっと）で「まなとびあフェスティバル」に参加し、チラシ配布やポスター展示、DVD放映、募金活動を行っていました。子どもの参加も多く、趣味の会の発表もありでにぎやかな2日間なので、コロナで開催出来なかったのは残念でした。

■ 2020年活動報告

月 日	イベント名	会 場
1月12～13日	カレンダーバザー募金	コープさっぽろ貝塚店
5月	第9回道東支部総会・会員研修会・中止	生涯学習センター
7月	ユニセフ・キャラバン・キャンペーン・中止	
8月	釧路みなとコンサート・中止	観光交流国際センター
10月	くしろせんもん学校・学校祭・中止	くしろせんもん学校
11月	生涯学習フェスティバルまなトピア2020・中止	生涯学習センター
11月13日	SDGsとウガンダでのNGO活動講座	釧路市民活動センターわっと



国際理解講座「SDGs」とウガンダでのNGO活動

11月13日、道南支部代表で北海道国際交流センター理事の岡田朋子さんに「SDGsとウガンダでのNGO活動」と題し、体験を通じたお話をさせていただきました。カレンダー販売の会場をお借りするなど、いつもお世話になっております生協さんから、理事の方々も参加して下さいました。

■ 2021年活動計画

予定月日	イベント名	内 容
1月10～11日	カレンダーバザー募金	新年のカレンダー販売による募金活動
5月	第10回道東支部総会・会員研修会	道東支部の事業の報告と計画・研修会
7月	ユニセフ・キャラバン・キャンペーン	学校訪問・児童・生徒さんにユニセフの紹介
8月	釧路みなとコンサート	パネル展と募金活動・チラシ配布
9月	食べる・たいせつフェスティバル in 釧路	パネル展と募金活動・チラシ配布
10月	くしろせんもん学校・学校祭	パネル展と募金活動・チラシ配布
11月	生涯学習フェスティバルまなトピア2021	パネル展と募金活動・チラシ配布・DVD放映

③道東支部中標津友の会

町内のイベントが軒並み中止となり活動がまったくできていない。しかし活動ができない中でもソーシャルディスタンスを保って新しい形での活動は出来ないかを模索している。

■ 2020年活動報告

月 日	イベント名	会 場
7月	千島歯舞居住者連盟中標津支部青年部主催 北方領土返還運動寄席 →コロナ禍の為中止	中標津町総合文化会館



コロナ禍の影響により、今後イベントが開催されるか不明であるものの、募金BOXを設置してもらおう等の普及活動も計画しました。

■ 2021年活動計画

予定月日	イベント名	内 容
7月	北方領土返還運動寄席	会場内での実施補助を行い、ポストカード販売、募金活動、チラシ配布を実施予定。

④道北支部（旭川）

今、このコロナ禍のなかで大雪アリーナで行われる「食べる・たいせつ in 旭川」と明星中学校によるハンド・イン・ハンドの買物公園街頭募金など中止になることがありましたが、早くコロナが終息することを願いながら、いろいろな方々にユニセフを知っていただくよう活動を行っていきたいと思います。

■ 2020 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
9月3・4日	パネル展	旭川買物公園アッシュ
5～10月	募金箱回収	旭川市内お呼び近郊での募金箱回収と継続のお願い



パネル展の際にお持ちいただいた外国紙幣とコインです。

■ 2021 年活動計画

予定月日	イベント名	内 容
9月	パネル展	ユニセフパネル展示会（2日間）
12月	ハンド・イン・ハンド	明星中学校の生徒によるボランティア活動
6～9月	募金箱回収	募金回収活動

⑤道南支部（函館）

2020年度の3月に企画していた上映とだらせんプロジェクトは開催まじかに新型コロナウイルス感染拡大の影響により残念ながら中止となってしまいました。

直前まで開催に向けて準備してくださったみなさま、参加を4希望してくださったみなさま、本当にありがとうございます。時期がきたら再開したいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

■ 2020 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
1月2日	カレンダー市	コープさっぽろ ひとみ店、湯川店
3月29日【中止】	映画上映会「ちいさな哲学者たち」	函館市中央図書館
3月3日～6月30日	ハコダテだらせんプロジェクト	函館市内各所



「コロナ禍のイベント」
2月中旬頃から北海道での新型コロナウイルスの感染が拡大していき、北海道よりイベントなどの自粛要請がだされ中止となった。新型コロナウイルスの感染が落ち着いたら開催する予定。



今年で3回目を迎えるハコダテだらせんプロジェクト、現在の実行委員会は今年で最後となるが、同様のイベントを次年度も続けていく予定である。

■ 2021 年活動計画

予定月日	イベント名	内 容
未定	カレンダー市	カレンダー販売
4月	映画上映会	「ちいさな哲学者たち」
5月	だらせんプロジェクト	不要になった外貨を集める

ご支援と活動のようす

学校

講師派遣や募金贈呈式でユニセフ学習に取り組んだ児童の皆さんの感想をご紹介します。



Elementary School

札幌市立西野小学校 6年生

私達、西野小学校6年生は、みなさんから、世界の子ども達の状況を教えていただいた後、調べ学習をしました。戦争の中の子ども達、教育の大切さや衛生、医療についてなど、それぞれテーマを決めて調べ、まとめました。まとめる中で、自分達がふだんから出来ることがあること、実際に行動することの大切さを感じ、全校に伝えていきたいという思いがふくらみました。まとめの紙をもって各学級に行き、世界の苦しんでいる子ども達の様子や、水や食べ物を大事にすること、給食をたくさん食べることを、そして、募金活動をして実際に行動したいということをお伝えしました。

ぜひ、世界の子ども達を救うために、役立ててください。よろしくお願いします。



当別町立当別小学校 4年生

私はどうくつでじゅ業をしているのにすごくおどろきました。それに私たちは当たり前のように学校に行っていますが、半分以上の子どもが行けていないのがかわいそうです。

今回、コロナで手をあらう、マスクをつけるというのができていない国があることを知り、大変だなと思いました。これからは、この地球の子どもたちが幸せになれるように募金したいです。



Junior High School

市立札幌開成中等教育学校 2年生

今回の授業を受けて、私は自分の少しの行動が良い意味でも悪い意味でも世界に影響をあたえるということを知ることができました。発展途上国が世界にたくさんあることは前から知っていましたが、今回のお話を聞くまでは他人事だと考えていました。しかし、少しの募金でたくさんの小さな命が救えるということを知って、自分も何か小さなアクションで世界や小さな命を救えることに気づきました。「世界を知る」や「世界を救う」など、一言で聞くと、とても難しいことのように感じますが、自分にもできることがあるということをお教えたので、これから自分は何をできるのかを考えていきたいと思えます。

僕たちはどれだけ幸せなのかを、今日の授業で一層理解できました。この問題（SDGs）を解決することで僕たちが出来ることはまだ少ししかないと思いますが、未来を変えるのは僕たち子どもだと思っています。そのためにはSDGsの目標は本当に達成しないといけないと思います。子どもには生きる、育つ、守られる、そして参加する権利があると聞きました。なのに、女性への差別や学校に通ない子どもは世界に5900万人もいることも知り、驚きました。僕は他者への差別がない、日々の生活がどれほど裕福か考えさせられました。

企業・団体

ご協力いただいています、多くの企業や団体様より一部をご紹介します。

佐藤水産株式会社

長年にわたって本社を含めた4店舗に設置されたユニセフの募金箱を毎年春にお届けいただいています。特に新千歳空港店に置かれた募金箱には、外国コインも多く寄せられています。担当者も毎年引き継がれ、ユニセフへのご理解もご継承されているようです。



生活クラブ運動グループ

市民ネットいしかり 地域委員大森由紀子

私たちは、2008年から子どもの権利条約を周知するためにパネル展を継続して開催しています。今年で13回目となりました。(参加者：大人49名、子ども24名)この間、貴協会からパネル、DVDなどをお借りしパネル展を開催して来ました。



又、2010年と2011年には重原祐治様を講師としてお越しいただき学習会と講演会を開催しました。2018年に石狩市子どもの権利条例制定を求め議会陳情を行い同年12月の本会議で趣旨採択されました。2019年には石狩市議会議長と石狩市長に対し“石狩市子どもの権利条例制定に向けた議論の開始を求める要望”提出しました。

2020年10月1日に石狩市子ども政策課と生活クラブ運動グループが第1回意見交換会が行われました。今年度中に他団体にも呼び掛けて第2回意見交換会を開く予定になっております。条例制定への道のりはまだ遠い感がありますが諦めずに活動を続けていきたいと思っています。

チャイルドサポートはまなす

学校や個人、団体様よりご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがき、プリペイドカードなどを整理換金しているのが「チャイルドサポートはまなす」です。

2020年の募金額 645,628円



北海道・札幌市

北海道庁(各振興局等も含む)より797,287円、札幌市役所より227,103円の募金をいただきました。

コープさっぽろ

募金活動

コープさっぽろユニセフ指定募金「インドネシア・パプア地域 よむ・かく・うれしい！支援プロジェクト」に一緒に取り組み、「ロヒンギャ難民緊急募金」にもご支援をいただきました。さらには、事業所、組合員さんからは使用済み切手等の提供・整理、ユニセフコーナーの運営と多岐にわたるご協力をいただいております。



オンラインによる学習会

『ユニセフ学習会（3回シリーズ）を終えて』

コープさっぽろ理事 櫻木真紀

コロナ禍での取り組みとして、オンライン学習会を3回シリーズで開催し、参加者は100名あまりとなりました。「ユニセフってなあに？」ユニセフの基礎を学ぶ学習で、2回目は、日本ユニセフ協会の石尾氏による「コープさっぽろユニセフ指定募金 インドネシア・パプア地域 よむ・かく・うれしい支援プロジェクト」について。3回目は、「子どもの権利条約」について学び、初の試みであるオンライン学習を通じたたくさんの方に聞いていただき、理解を深めることができました。

参加された方からは

- ・小原さんのお話はとてもわかりやすく、30分という時間も集中できてよかったです。
- ・新たな支援先である、インドネシアという国の概要、プロジェクトの説明、視察報告、新型コロナウイルスの感染状況もお聞きし、支援の必要性をあらためて理解することができました。
- ・10人のうち5人しか読み書きができない。この国の子どもたちが私達の募金で少しでも良い方向へ向かう事を願いながら、このPJの説明や募金活動をしていけたらと感じました。
- ・子どもの権利条約の、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利、そんなあたりまえのことが守られていない国もある。
- …戦争、虐待、貧困など世界も、日本だってあることかも。苦しむ子どもが少しでも減るように他人事だとは思わずに考えていきたいと思いました。

以上の感想をいただきました。

自主グループ活動

西岡ボランティアグループ 小原裕子

二つのグループ（自主）活動があります。その中でボランティアグループとして5名の方々がユニセフ支援として活動しています。

普段の活動としては古切手の整理と友愛バザーをおこなっています。

世界の子供たちの支援に少しでも役立ってほしいと活動をしています。

新発寒店ボランティアグループ 三崎陽子

心ひとつにして31年目

現在7名で支えられ、カレンダー募金、ユニセフ募金の準備態勢はお任せ、尊敬し信頼でき、こころの温かい人達です。

第2水曜日定例活動日、手作り品、バザー準備、古本整理。

これからも世界の子供たちの力になりたいと活動を続けます。

コープさっぽろ指定募金 インドネシア・パプア地域の現状

日本ユニセフ協会 団体・企業事業部 主任 石尾 匠

「パプア」と聞くと、パプアニューギニアをイメージする方も多いかと思いますが、ニューギニア島の西半分はインドネシアで、パプア州と西パプア州が存在します。インドネシアのこのパプア地域で暮らす子どもたちは、いまだに質の高い教育へのアクセスができず、多くの課題を抱えています。この地域では、居住地（都市部／農村部）や民族（先住民／非先住民）の間で大きな格差が存在しています。2015年の調査によると、パプア地域では、10人のうち5人が読み書きができないことがわかりました。

この状況を改善するために、コープさっぽろのみなさんから募金をお寄せいただき、識字率を向上させる質の高い学校教育プログラムをユニセフ・インドネシア事務所が実施しています。パプア地域では、教員の指導能力が不足していること、教材が足りていないこと、保護者が教育の大切さを理解していないことなどの課題を抱えています。この教育支援プログラムでは、教員や校長への研修を実施して効果的な読み書きの指導法を教えたり、さまざまな学年・レベルに合わせた学級図書や絵本を提供したり、教育の大切さを地域住民への知らせるための広報・啓発活動を今後行っていく予定です。

残念ながら、インドネシアでも新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。インドネシアでは2020年3月末から6月末まで全国の学校が閉鎖されていました。その後、7月にインドネシア政府は「対面学習の再開に関する通達」を出し、全国の514の自治体を4段階にリスク別の色分け（赤、オレンジ、黄色、緑）をして、緑と黄色の自治体では対面学習を許可しています。パプア地域は、ほとんどが緑か黄色のため、対面学習が可能です。従って、基本的にはコープさっぽろ支援による活動に大きな影響はないだろうという報告を受けました。パプア地域も多くの学校で対面学習が始まり、学校での手洗い推進など感染症対策を徹底しつつ、現在活動が進められています。



(C)UNICEF Indonesia/2020



(C)UNICEF/UNI308900/ljazah

北海道ユニセフ協会では、2020年からオンラインによるユニセフ学習会を始めています。インドネシアの支援活動報告も9月にさせていただきました。実際に対面でお会いして支援のお礼とご報告ができないのは残念ですが、こうしたオンラインでの機会を積極的に活用してまいりますので、今後ぜひご参加ください。ユニセフへの引き続きのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

失われた世代を生まないために

—新型コロナ流行が及ぼす世界の子供たちへの深刻な影響—

北海道ユニセフ協会 専務理事 花淵馨也

日本ではあまり報道されていませんが、新型コロナ感染は欧米諸国だけでなく開発途上国でも急速に拡大しており、重大な影響をもたらしています。世界銀行は、過去20年間減少を続けてきた世界の極度の貧困層が増加に転じ、サハラ以南アフリカや南アジアを中心に、2020年に新たに8800万～1億1500万人が、2021年には1億5000万人が極度の貧困に陥るという予測を発表しています。また、世界食糧計画（WFP）は、迅速な対応をしなければ、世界で極度の飢餓に苦しむ人が2億6500万人に増加するとしています。新型コロナの影響は世界の格差を悪化させており、国連開発計画（UNDP）は、「新型コロナウイルスには国境は関係なく、最も弱い立場にある人々が最も大きな打撃を受け続けることになる」と、途上国に壊滅的な影響をもたらす可能性があるという警鐘を鳴らしています。

社会の中で最も弱い立場である子どもたちへの影響は最も深刻な状況にあります。11月、ユニセフは『COVID-19による失われた世代を生まないために』という報告書を発表し、その中で、子どもへの新型コロナ感染が広がっており、感染者全体の11%、9人に1人は20歳未満の子どもだとしています。また、感染のリスクだけでなく、新型コロナは子どもたちの成長のさまざまな面に、長期的で重大な影響を及ぼすことが指摘されています。医療保健の機能麻痺によ

り予防接種が滞ることで、はしかなどの感染症が子どもたちに広がりつつあります。世界の学校に在籍する子どもの33%が休校による影響を受けており、学校機能の麻痺による子どもの学習の停滞や、家庭内での児童虐待が増加していると報告されています。さらに、教育、栄養、保健へのアクセスが困難な極度の貧困層の子どもが急増しており、消耗症や急性栄養不良になる5歳未満の子どもたちが600～700万人増え、サハラ以南アフリカや南アジアを中心にひと月に1万人以上、12か月の間に推定200万人の子どもが死亡するという予測が報告されています。

ポストコロナ時代の人類社会を明るくするために、私たちは新型コロナ危機の中で生まれ、育つ子どもたちのことを真剣に考え、行動しなければならないでしょう。世界の子どもたちを「失われた世代」にしないため、今、ユニセフでは150ヶ国以上の対象国に、これまでで最大規模の支援活動に取り組んでいます。新型コロナ危機に対するユニセフの支援活動については、日本ユニセフ協会の「新型コロナ緊急募金」のホームページ（<https://www.unicef.or.jp/kinkyu/coronavirus/>）で詳しく紹介されています。北海道ユニセフ協会も、新型コロナ危機と戦うユニセフの支援活動を後押しする取り組みに励んでまいります。



UNICEF/UNI325634/Frank Dejongh

インフォメーション……………



ユニセフにご協力いただく方法

ユニセフの活動は皆さまからのご協力によって支えられています

●ユニセフ募金

子どもたちを守るユニセフの活動全体を支えます。保健、栄養、水と衛生、教育、子どもの保護など、190の国と地域で行われているユニセフの活動全体を支えていただく大切な募金です。全国の郵便局（ゆうちょ銀行）からご送金できます。

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

*通信欄に「K1-010 北海道」とご記入ください

*窓口でお振込の場合、送金手数料は免除されます

～このような方におすすめです～

最も支援が必要な子どもたちの支援を好きな時に行いたい！

●ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム

クレジットカードもしくはご指定の金融機関から、任意の金額を、毎月、自動振替でご協力いただく募金プログラムです。本プログラムは、ご支援期間が決まっておきませんので、停止のお申し出をいただくまで継続されます。

～このような方におすすめです～

最も支援が必要な子どもたちを継続的に支援したい！

●緊急・復興支援

地震や津波、洪水、台風などの自然災害や、紛争で被災した子どもたちのための緊急・復興支援活動を支える募金です。

「支援先をお選びください」ロヒンギャ難民・新型コロナウイルス緊急・シリア・アフリカ栄養危機・自然災害・人道危機（2021年1月1日現在）

～このような方におすすめです～

自然災害や紛争の影響を受けている子どもたちを支援したい！

●分野・地域指定募金

水と衛生、HIV／エイズなど特定のユニセフの活動分野や、ユニセフが活動を行っている国・地域を指定してご支援いただける募金です。

～このような方におすすめです～

特定のプロジェクトを応援するため支援したい！

●支援ギフト

ユニセフの支援物資を、途上国の子どもたちにプレゼントのご支援方法です。ワクチン、治療用ミルク、毛布などのユニセフの支援物資をご指定ください。ユニセフがあなたに代わって、子どもたちのもとにお届けします。



栄養治療食



毛布



箱の中の学校

●外国コイン

旅行や出張で海外に行ったことがある方なら、残ったコインや紙幣が必ずあるはず！一部の国の紙幣を除けば、外国通貨は日本では両替することができません。記念品やおみやげにするのも楽しいですが、余ったコインを世界の子どもたちのために役立ててみてはいかがでしょうか。

●賛助会員

日本ユニセフ協会が行う様々な活動を、賛助会費によってご支援いただく協力方法です。賛助会員には「ユニセフニュース」や資料をお送りしますので、世界の子どもたちの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、出来る範囲で行動する機会にさせていただくことが出来ます。

会員の種類と期間

1. 一般賛助会員 1口 5,000円
(個人・入会月から1年間・申し出まで継続)
2. 学生賛助会員 1口 2,000円
(18歳以上の学生・入会月から1年間・申し出まで継続)
3. 団体賛助会員 1口 10万円
(企業、団体、有志のグループ・1年ごとの更新)
年会費は、毎事業年度における合計額の50%以上を当該事業年度の日本ユニセフ協会の公益目的事業に使用いたします。

詳しくは北海道ユニセフ協会にお問い合わせください。

●北海道ユニセフ協会の「会友」に登録する

北海道ユニセフ協会は「会友(かいゆう)」を募っています。この会は北海道ユニセフ協会が行う様々な活動をご支援いただく団体です。会友登録は無料ですが、広報誌やイベント案内など希望される方には通信費として最低500円以上(年)のご寄付をお願いしています。趣旨をご理解の上、ぜひご登録をお願いいたします。

●北海道ユニセフ協会のボランティア

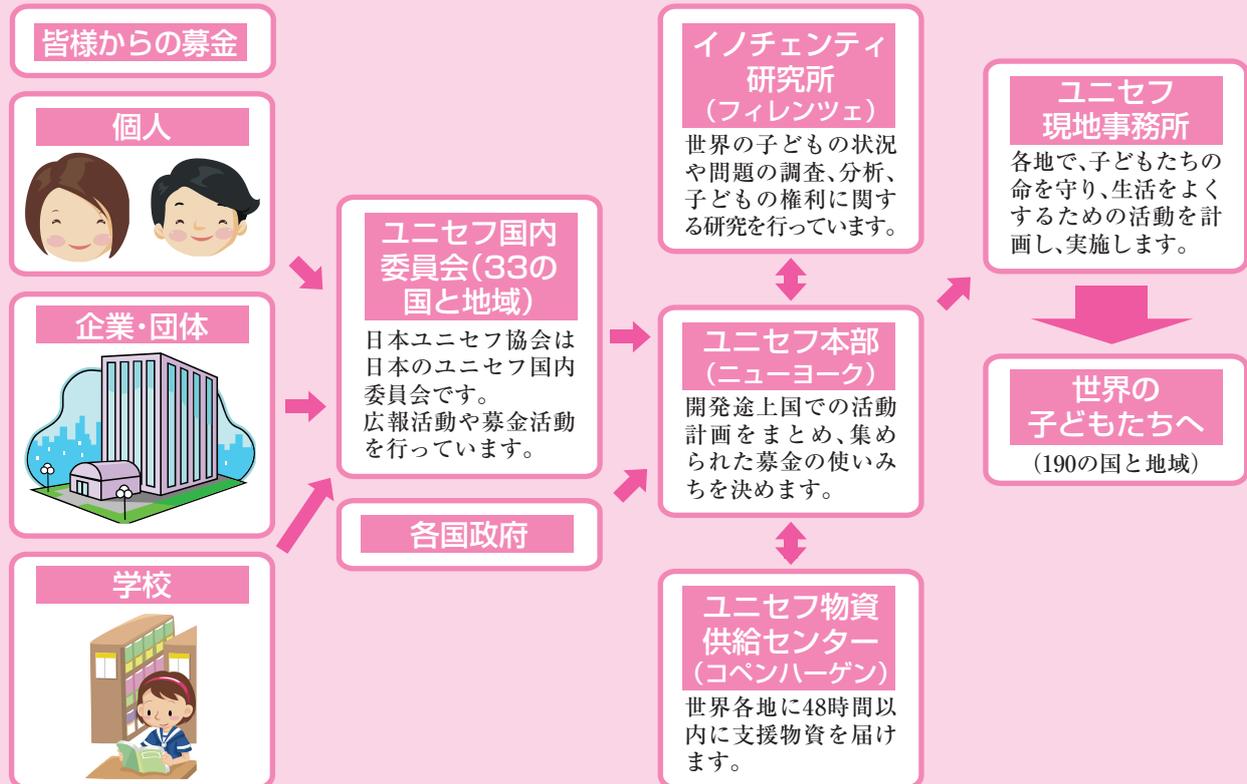
主な作業は、イベント会場や街頭での募金活動・外国コインの回収と発送。パネル展の企画運営やユニセフ支援ギフトの紹介。資料の作成や発送の作業、未使用や使用済みの切手・ハガキ・カードの整理などです。

●このようなものを集めています

- ・使用済み切手、・未使用切手・テレホンカード類、・書き損じはがき



ユニセフの組織と募金の流れ



アクセス

地下鉄宮の沢駅より 徒歩20分
JR発寒中央駅より 徒歩10分



あしがき

2020年は新型コロナウイルスが世界中で蔓延し、色々な活動が企画通りに進めることが叶いませんでした。同時に子どもたちには感染対策でもある衛生や学びの大切さをあらためて知ることとなりました。残念ながらまだまだ終息には至りませんが、世界の子どもたちが希望を持てる未来になるよう、皆様のご支援をお願いいたします。

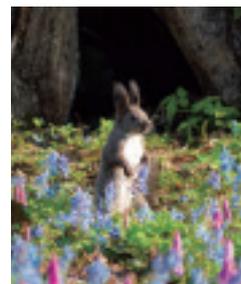


Photo by take621018